

平成 28 年度 施策評価シート

基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	1 子育て世代への重点支援		所管部
施策の方向性	●結婚・妊娠・出産・育児（未就園児）の切れ目のない支援を行う仕組みづくりを構築し、結婚支援を含めた幅広い子育て支援を行います。 ●配慮を必要とする子育てで家庭への支援及び子育てに係る経済的負担の軽減等、子育てで家庭を支援します。 ●児童の居場所づくり等、児童健全育成対策の充実を図り、子どもの生きる力を育む環境づくりを行います。		福祉保健部

1. 施策指標

番号	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	中期目標(H32)
1	子育てしやすさ	%	目標値		93	93	93	93	94
			実績値	93	97				
			達成状況		達成				
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						
施策の推進に要した総事業費		千円	総事業費		1,268,339				
			うち、一般財源額		325,682				
		%	増減率(対前年度、総事業費)						
			増減率(対前年度、一般財源額)						

2. 施策の成果を押し上げる事業(事務事業)

番号	事業名称	事務事業評価指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
01	子育て応援事業	子育て不安が解消された母親等の割合	%	目標値		70	70	70	70	70
				実績値	50	70				
				達成状況		達成				
			千円	事業費		9,195				
				うち、一般財源額		4,690				
02	不妊治療費助成事業	助成件数	件	目標値		83	83	83	83	83
				実績値	-	61				
				達成状況		未達成				
			千円	事業費		6,933				
				うち、一般財源額		6,933				
03	養育支援訪問事業	訪問数	件	目標値		150	150	150	150	200
				実績値	-	66				
				達成状況		未達成				
			千円	事業費		6				
				うち、一般財源額		2				
04	児童センター事業	利用者数(1日当たり)	人	目標値		120	220	220	220	220
				実績値	120	126				
				達成状況		達成				
			千円	事業費		33,955				
				うち、一般財源額		32,252				
05	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	受入児童数	人	目標値		647	647	647	647	647
				実績値	463	631				
				達成状況		未達成				
			千円	事業費		64,400				
				うち、一般財源額		16,107				
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						

3. 施策の成果を維持する事業(財政計画)

番号	事業名称	単位	区分	H28	H29	H30	H31	H32
1	児童福祉一般事務事業	千円	事業費	6,120				
			うち、一般財源額	5,021				
2	児童虐待防止対策強化事業	千円	事業費	514				
			うち、一般財源額	402				
3	児童手当等給付事業	千円	事業費	969,721				
			うち、一般財源額	146,213				
4	福祉事務所（児童扶養手当 給付）事業	千円	事業費	167,228				
			うち、一般財源額	112,064				
5	福祉事務所（母子家庭自立支援）事業	千円	事業費	10,267				
			うち、一般財源額	1,998				
6		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
7		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
8		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
9		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
10		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
11		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
12		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
13		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
14		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
15		千円	事業費					
			うち、一般財源額					

4. 評価と対応方針

評価分析

前年度評価を踏まえた見直し状況

目標と実績の乖離要因

施策の成果を押し上げる事業（事務事業）の分析

事業名称	指標 達成状況	事業効果	事業改善	今後の方向性	方向性を踏まえた取り組み方針
子育て応援事業	達成	高	低	事業継続	
不妊治療費助成事業	未達成	高	低	事業継続	平成29年度から不妊検査・一般不妊治療費を助成対象に加えるとともにホームページや広報誌への掲載も継続し、制度の周知を図ります。
養育支援訪問事業	未達成	高	低	事業継続	児童の養育について支援を必要とする家庭に対し、フォローに力点を置いて進めていきます。
児童センター事業	達成	高	低	事業継続	地域に根ざした児童センターとなるよう、地域の諸団体と連携をさらに強化し、中・高校生の居場所づくりも積極的に行っていきます。
放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	未達成	高	高	事業継続	引き続き待機児童を出さず、安定的な運営を継続するため、指導員の確保及び施設整備が必要です。

5. 今後の展望

成果を押し上げる事業（事務事業）の今後の展望		
事業名称	今後の方向性	方向性を踏まえた今後の展望
1 子育て応援事業	事業継続	引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
2 不妊治療費助成事業	事業継続	未達成ですが、目標値到達率は60%を超えていることから、乖離要因に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
3 養育支援訪問事業	事業継続	未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っており、事業は継続するものの、乖離要因を念頭に、対応方針に沿った見直しを実施することとします。
4 児童センター事業	事業継続	引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
5 放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	事業継続	対応方針に沿った改善策を取り入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
課題等を踏まえた対応方針及び今後の事業の展望を踏まえた施策の方向性		
未達成の事務事業に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。 また、平成29年度には、妊娠期から継続して支援する子育て世代包括支援センターを立ち上げ、一人ひとりに合った継続支援を実施することとします。		

1. 基本情報

事務事業の名称	子育て応援事業	事業番号	131101
所属	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	1	子育て世代への重点支援	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	妊娠、産後、0歳児から2歳児のパパママを対象に、ステージ別の講習会を実施しました。 【地域子育て支援センター2か所（府中ひかり保育園・若竹保育園）で各5回】 平成28年度397人参加
2	気軽に相談ができるかかりつけ保育所・幼稚園を設定し、また協賛店による子育て支援を受けられる子育て応援カードを未就学児を抱える子育て家庭に配布しました。 平成28年度未登録者数990人
3	保護者の急用時等に一時的にお子さんを預かるファミリーサポートセンター事業を行いました。 平成28年度 利用件数284件
4	ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。 平成28年度 小学校29人、中学校44人 合計73人
5	未婚の男女を対象に、意識啓発セミナー（ハッピーウエディングセミナー）を開催しました。 平成28年度（1回開催） 30人参加
6	町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（8台）、幼稚園5園（各2台）】平成28年度末時点で39台を貸出（貸出率77%）
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	9,195	13,936	13,153	13,153	13,153
事業費					
財源内訳					
国庫支出金	880	908	933	933	933
県支出金	3,625	2,352	2,377	2,377	2,377
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,690	10,676	9,843	9,843	9,843

4. 事業目標（事業指標）

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 子育て不安が解消された母親等の割合	%	目標値	70	70	70	70	70
		実績	70				
		達成状況	達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
	前年度評価を踏まえた見直し状況					
	目標と実績の乖離要因					
新たに発生した課題・環境変化						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
作成担当課長			子育て支援課長 新見 公平			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	不妊治療費助成事業	事業番号	131102
所属	福祉保健部	保険年金課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	1	子育て世代への重点支援	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	不妊に対する検査・治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、体外受精及び顕微受精を対象とする特定不妊治療への助成を行いました。(61件)
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	6,933	9,600	12,195	12,195	12,195
事業費 財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,933	9,600	12,195	12,195

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 助成件数	件	目標値	83	83	83	83	83
		実績	61				
		達成状況	未達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
	前年度評価を踏まえた見直し状況					
	目標と実績の乖離要因					
申請者が見込者数より少なかったことによります。						
新たに発生した課題・環境変化						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
平成29年度から不妊検査・一般不妊治療費を助成対象に加えるとともにホームページや広報誌への掲載も継続し、制度の周知を図ります。						
作成担当課長			保険年金課長 森本 雅生			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
未達成ですが、目標値到達率は60%を超えていることから、乖離要因に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	養育支援訪問事業	事業番号	131103
所属	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	1	子育て世代への重点支援	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	訪問による養育支援が必要と認められた家庭において、適切な家事・育児等の援助及び専門的な訪問支援を行うもので、そのうち訪問支援である、助言・指導については、健康推進課と連携し、66回実施しました。
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	6	582	3,552	4,032	4,032
事業費 財源内訳	国庫支出金	2	194	1,184	1,344
	県支出金	2	194	1,184	1,344
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2	194	1,184	1,344

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 訪問数	件	目標値	150	150	150	150	200
		実績	66				
		達成状況	未達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
前年度評価を踏まえた見直し状況						
目標と実績の乖離要因						
虐待のリスクを抱える家庭や育児不安を解消するための専門的な訪問相談は利用されましたが、育児・家事等の訪問援助については相談者からの希望がなく利用されなかったことが要因です。						
新たに発生した課題・環境変化						
孤立している世帯への積極的な相談支援（転入者等）が利用できるように検討していきます。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
児童の養育について支援を必要とする家庭に対し、フォローに力点を置いて進めていきます。						
作成担当課長			子育て支援課長 新見 公平			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っており、事業は継続するものの、乖離要因を念頭に、対応方針に沿った見直しを実施することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	児童センター事業	事業番号	131104
所属	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	1	子育て世代への重点支援	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。 府中南交流センター平成28年度中43,822人の利用
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	33,955	45,525	44,954	44,929	44,929
事業費 財源内訳	国庫支出金	847	1,593	1,530	1,530
	県支出金	856	2,768	1,539	1,539
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	32,252	41,164	41,885	41,860

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 利用者数(1日当たり)	人	目標値	120	220	220	220	220
		実績	126				
		達成状況	達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
前年度評価を踏まえた見直し状況						
目標と実績の乖離要因						
新たに発生した課題・環境変化						
毎日、たくさんの利用があり、行事の時など児童センター内が飽和状態の時があります。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
子育てひろばやおはなし会などの事業充実を図るとともに、地域に根差した児童センターとなるよう、地域の諸団体との連携を更に密にしていくとともに、中・高校生の活動の場を増やし、中・高校生の居場所づくりも積極的に行っていきます。						
作成担当課長			子育て支援課長 新見 公平			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	事業番号	131105
所属	福祉保健部 子育て支援課 教育委員会 社会教育課		
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	1	子育て世代への重点支援	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的として、放課後児童クラブを運営しました。
2	平成28年度から高学年児童の受け入れ及び夏休み期間中のみの受け入れを開始しました。
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費 財源内訳	事業費合計	64,400	69,709	68,692	68,692
	国庫支出金	27,357	23,236	22,897	22,897
	県支出金	20,936	23,236	22,897	22,897
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	16,107	23,237	22,898	22,898

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 受入児童数	人	目標値	647	647	647	647	647
		実績	631				
		達成状況	未達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
前年度評価を踏まえた見直し状況						
目標と実績の乖離要因						
平成28年度から高学年児童の受け入れを開始し、ニーズ調査の結果に基づいて目標値を設定しましたが、6年生については4・5年生時に在籍していなかったため、実績と乖離しているのではと考えます。達成状況としては未達成となりますが、待機児童は出ませんでした。						
新たに発生した課題・環境変化						
今後は高学年児童のみならず、夏休み期間中の受入れなども含め、最大児童数が増加すると思われるので、できる限り待機児童を出さず受け入れる環境が必要と考えます。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
引き続き待機児童を出さず、安定的に運営するために、指導員の確保（量・質）や施設整備が必要と考えます。特に施設面では南小学校区と中央小学校区の放課後児童クラブ活動スペースの不足が想定されるので対応を検討します。						
作成担当課長			社会教育課長 山下 賢二			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
対応方針に沿った改善策を取り入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	